

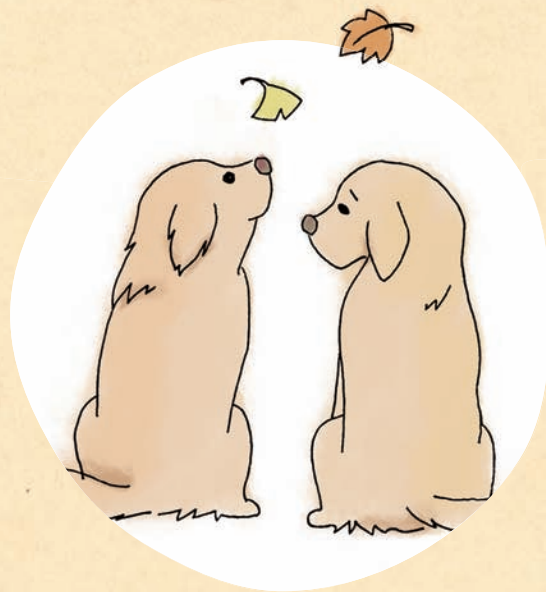
空の里だより

NPO法人地域福祉支援センター ちいさな手 季刊誌

- 「空の里だより」 ちいさな手
季刊誌創刊号 創刊にあたって
- ちいさな手のあゆみ
- ちいさな手と私
- ちいさな手のお仲間
- ちいさな手スタッフ大集合！
- 事業のご紹介

【創刊号】

2014年11月29日 発行





【1998年】

清野祥子・光彦 ちいさな手設立準備
支援者に説明・拠点となる清野宅の建設に着手

★支援者を訪問中キロロの「未来へ」を
聴きながら「頑張ろうね!!」と涙

【1999年】

- 2月 7日 ちいさな手 任意団体設立総会13名参加(清野宅)
- 8月 5日 北海道よりNPO法人として認証される
- 8月12日 法人登記完了
晴れてNPO法人地域福祉支援
センターちいさな手誕生
- 9月24日 居宅介護支援事業所指定許可(ケアプラン作成事業所)
- 12月15日 訪問介護事業所指定許可(ヘルパー事業所)

★この年の年間活動費40万円でした

【2000年】

3月27日 利用者のお宅をまわり契約を開始

<エピソード>

★理事長、利用者のお一人から

「おおきな手になってね」と激励され、涙…

★大雪にみまわれた3月29日、契約のために
雪をかき分けて進む河野博恵ケアマネの
後ろ姿が頼もしかった

4月 1日 介護保険制度運用開始

<エピソード>

★ヘルパー依頼は3件からスタート

★最初の介護保険請求はじめて63万円

★この年は、NPO法人の介護サービス事業者が
珍しく視察や講演依頼が沢山ありました

★独自の研修も助成金で盛りだくさん

ちいさな手のあゆみ



2月19日

くり
空里ちゃん
誕生



ちいさな手季刊誌

「空の里だより」創刊にあたって

みなさまに支えていただき、今年で設立15年目となる節目を迎えることができました。

応援していただきましたご利用者さま、ご家族のみなさま、活動を共にしてきた仲間たち、そして新得町を始め多くの地域のみなさまに、この場をお借り致しまして感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

この度15年の節目を記念して、この小さな季刊誌を創刊することに致しました。

創刊にあたってのコンセプトは「輝いている今」。

タイトルは、設立当初からみなさまに看板犬第1号として愛され、今は天国に行ってしまった「空里」の名前を使い、「今でも空の上から見ているよ！頑張ってるね!!」と天国からのエールの意味を込めて「そのさとだより」とさせていただきます。

振り返れば、15年間歩んできた細い道が続いています。足元を見ると、この道は確かに未来につながっているように思えます。

この節目を機会に気持ちを新たに、これまでみんなで築いてきた道を守りつつ、未来に向かって“ちいさな歩み”をまた一歩ずつ進めていく所存ですので、どうぞ変わらぬご支援のほどよろしく願い申し上げます。

NPO法人 地域福祉支援センター ちいさな手
理事長 清野祥子



【2011年】

- 3月 岡本スポーツの協力で東日本大震災被災地に「長靴」を送る
- 4月 ちいさな手看板(清野節子賛助会員の寄付)リニューアル
- 11月26日 高齢者たまたて箱にて、吉岡崇之賛助会員の協力を得て、第1回「手打ちそばを味わう会」を開催。以来秋の恒例行事となる

9月12日
くり
空里ちゃん
天国へ



【2012年】

- 4月 児童日中一時支援に新得町より活動補助金決まる。以来2013年・14年と継続中
- 7月17日 畑を鹿の食害から守る「ソーラー電牧」設置
- 10月 新得社会福祉協議会主催「笑顔コンテスト」で人間をおさえて、第2の看板犬「絵夢ちゃん」が銅賞をいただく。以来2013年・14年と、高齢者たまたて箱3年連続受賞中!!



【2014年】

- 7月7日 福祉車両「ラウム」の後継車両「フィット・ハイブリット」が登場!

現在に至る

【2004年】

- 4月 児童たまたて箱で中学生の利用が可能になる
- 10月2~3日 NPO合同宿泊研修会開催(国立大雪成年の家) ちいさな手・かしわのもり・ゆめという

【2005年】

- 10月23日 絵夢、盲導犬センターからちいさな手へ
- 10月25日 北海道高橋はるみ知事より、北海道福祉のまちづくりコンクール奨励賞をいただく

【2006年】

- 4月 福祉有償輸送80条許可 正式に移送サービス開始

【2007年】

- 4月 福祉有償輸送79条登録

【2009年】

- 7月22日 ちいさな手・たまたて箱 拠点新築(建物引き渡し)



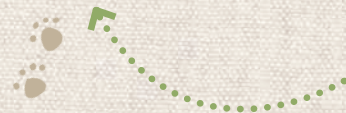
10月9日
みむむ
絵夢ちゃん誕生

【2003年】

- 3月27日 林そろばん塾の跡を借り改修
- 6月11日 児童日中一時支援事業「たまたて箱」始まる
- 7月 福祉車両「ラウム」リース開始
- 10月 1日 高齢者短時間デイサービス「たまたて箱」始まる

【2001年】

- 2月 6日 日本財団より福祉車両ミニキャブ納車(現在も現役です)
- 3月28日 通院移送サービスさっそく始動
- 4月 1日 光彦、厚生協会を退職し ちいさな手事業に専念
- 5月30日 祥子理事長は下関行政書士さんのご指導の下初めての確定申告に挑戦 無事終了
- 6月 ホームページ開設



ちいさな手と私



利用者 坂東ユミさん(83歳)

「ちいさな手」には、私が手術をした後から世話になってきているのだから、もう15年来の付き合いだ。

当時からよくしてくれている清野光彦さんは、息子みたいなものだ。お互いに気兼ねがなく、いい話し相手にもなってくれる。今はヘルパーさんに週2回来てもらい、たまたま箱には週2回通って、たわいもない話で盛り上がりつつある。「ちいさな手」があるから毎日が楽しい。

そんな私のもうひとつの楽しみは、歌を歌うこと。民謡をずっと続けてきて、賞をもらったこともある。日曜日には友達とカラオケに出かけ、月曜日は老人会でのど自慢だ。十八番は「岸壁の母」！お盆には仏壇に向って、2年前に亡くなった父さん(主人)に聴かせてやった。モットーは「一日一日を小さきみに生きる！」。今日・明日を大事にして、楽しく生きるのが私の哲学なのだ。そして、夜には「今日も一日頑張れてよかった」と感謝して寝る。

豊頃から嫁いできて、この家に暮らして40年。「ちいさな手」のお世話をいたできながら、できるだけここで頑張りたい。



ちいさな手と私は家族のような存在です。



得意の民謡で何度も入賞！



ちいさな手スタッフと花見に！



誕生日にちいさな手から贈られたメッセージも大事に飾っています。

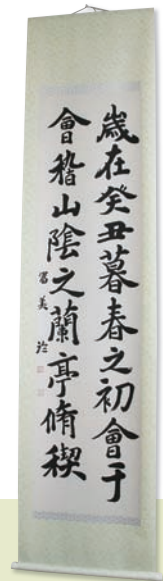


富樫ヒサコさんは、年前からちいさな手のヘルパーを利用し、今年の5月から「たまたま箱」に通っています。送迎の車中からワイワイと女子会が始まり、ご本人曰く“好きなお茶を飲みながら、騒いでる間に半日が過ぎている”そうです。

ご家族とパシヤリ！
ヒサコさんは昔から積極的な性格で、編み機が登場した時も習いに行き、よく娘さんのセーターなどを編んでくれました。



利用者 富樫ヒサコさん(87歳)



書道の腕前はかなりのもの。達筆です！



たまたま箱では、11月の芸術祭に出展するための「ちぎり絵」(新得駅前イルミネーション)を作成中。



趣味の陶芸。もう趣味の域を超えています！

ちいさな手のお仲間



利用者 三浦和実くん(小3)

絵や字を書くことが好きで、大好きな家族(とうさん・かあさん・ねえね)に泣かせるメッセージをくれたりします。



お父さんの肩車が大好きで、外でもこうやってよく歩いています。夜は必ず本を2冊読んでもらってから寝ます。

小学1年生から「たまたま箱」に通っています。学校が終わった放課後は、たまたま箱でお友達と賑やかに走り回っています。お手伝いもたくさんしてくれます。勉強も音楽もカードゲームも料理もカメラも、興味のあることがたくさんあります！とっても明るくてみんなの人気者です！





清野節子

ボランティア、
まだまだ
頑張ります！



関根章子

安定が一番。
全てマル??



川村由美子

ヨッ！
このバランス感覚
まだまだいける。

大山聡子

まだ30代だけど、
身体固いんです。



清野祥子

はりきりましたが、
腰痛めー！
シェー!!



ちいさな手 スタッフ大集合!

鈴木 典

熱烈な
ファイターズ
ファンです!



菊地まゆみ

ちょっと
カワイクして
みました。
いかが？



又原聖子

お菓子作り大好き
聖子デス♪



浅野さくら

秋田小町です。
米最高!!



清野光彦

男性ひとりなので、
大事にして
もらってます。



絵夢

看板犬
第2号として、
まじめに仕事
しています。



高齢者デイサービス たまで箱

(指定事業者番号 0184700037)

午前中3時間程度の短時間デイサービスです。
お茶を飲みながら楽しくおしゃべりしたり、
歌を歌ったり、足浴などを行っています。

訪問介護事業

(介護保険法指定事業者番号 0174700062)
(障害者自立支援法指定事業者番号 0114701493)

介護保険対象の方(要支援・要介護)または自立
支援法、障害者総合支援法対象の方にヘルパー
を派遣し、日常生活の援助をさせていただきます。

居宅介護支援事業

(指定事業者番号 0174700062)

要介護認定された方が、介護保険サービスを
利用するための介護計画書(ケアプラン)を作成
します。

社会福祉士事務所

社会福祉に関する“よろず相談所”です。
ちいさな手会員の社会福祉士(国家資格)が
ネットワークを使い、解決まで支援させてい
たきます。手話のできるスタッフもいます
ので、お気軽にご相談ください。

移送サービス事業

(新得町有償運送運営協議会協議済み 79条登録)

通院等が困難な方に対し、ご自宅から病院等
への送迎をいたします。院内介助も行います。
新得町福祉有償運送協議会にて登録された方
が対象となります。詳しくはご相談ください。

児童日中一時支援 たまで箱

(指定事業者番号 0163580001127)

主に、放課後の支援活動をしています。子
どもたちが地域の中で生活できるように、一人
ひとりの個性を大切に、個別に援助して
います。



ちいさな手の
お仕事紹介



虹の掛け橋

天国と地上を結ぶ掛け橋があります。

7つの色を持つその橋は、虹の掛け橋と呼ばれています。

虹の掛け橋のこちら側には、緑の草の生い茂る草原や丘、そして谷が広がっています。

愛する動物が亡くなった時、動物はこの場所にやってきます。

そこにはいつも、食べ物と水と暖かい春の日差しがあります。

年老いた動物達も弱った動物達も、再び若返ります。

体が不自由になっていた動物達も、すっかり元通りになっています。

みんなで一日中遊んでいます。けれど、ひとつだけ足りないものがあります。

地上で自分達を愛してくれた特別な人が、そこにはいません。

だから毎日動物達は走り、遊び続けます。

選ばれたものが突然遊ぶのをやめて、何かを見上げる特別な日がやってくるその時まで。

その瞬間、その子の耳はピンと立ち、眼はじっとなにかを見つめています。

そして仲間から飛び出し駆け出していきます。あなたがとうとうやってきたのです。

あなたとあなたの特別な友が出会い、あなたはその子を腕の中に固く抱きしめます。

その子はあなたのほほに何度も何度も何度もキスをして、

あなたはあなたの信じられる最高の友である動物の眼を、もう一度じっとみつめます。

空の里から
私がおんない致します

看板犬第1号 ^くり ^り空里です
(2011年9月12日没)

ちいさな手ができた頃から
11年、スタッフや利用者
さんと一緒に暮らしてきました。
今は空からお世話にな
ったみんなのことを応援
しています🐾



特定非営利活動(NPO)法人
地域福祉支援センター

「ちいさな手」



〒081-0038 北海道上川郡新得町西3線50番地15
T E L 0156-69-5560 F A X 0156-69-5561
相談専用 0156-69-5570

☐E-mail nposcswc@chive.ocn.ne.jp ☐HP <http://www4.ocn.ne.jp/~petit/>